

科目名	アフレコⅡ								年度	2025
英語科目名	Postlooping Ⅱ								学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次		必／選	選	時間数	70	単位数	2	種別※	実技
担当教員				教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 発声・滑舌の訓練の継続、また作品の理解と自分の役どころを理解し豊かな表現ができること。 実際に使用する機材の使い方とマイクワーク、テキスト（台本）で使われる用語、台本の読み方（芝居の組み立て方）、マイク前での発声、距離感を覚える。										
【科目の概要】 アフレコ実習を中心に演技と録音スタジオでの技術を学ぶ。 自分が表現したものを録音して聞かせることによってそれぞれの意図と結果のギャップを埋めていき 十分な表現ができるように進めていく。										
【到達目標】 一年次より習練した演技力を、具体的かつ明確に、観客・又は求められた現場で可視化することができる。 普段意識することのない声音域、距離感を自覚し、表現する想像力を体得する。 共演者、演出家との意思疎通をはかり、協調性を持つことができるようになる。 声優という芸能の一分野で社会人として評価され、長期に渡り活動可能な役者になる基盤を作る。 さらに演劇を通じ自己を開放、表現することを身につけ、自己肯定感を上げることにより社会組織において、 深みのある人間関係を構築できる。										
【授業の注意点】 学生間、学生とのコミュニケーションを重視する。芝居、表現を習得すると同時に、他学生の演技を評価、 取り入れる目、耳を養うため、私語や授業態度には厳しく対応する。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	滑舌が明瞭で、意識して聞こうとしない相手にも、聞き取りづらい言葉が一つも無い		滑舌は良いが、意識して聞こうとしない相手には、一部聞き取りづらい言葉がある。		滑舌が良く、聞き手が集中していれば、聞き取りづらい言葉が一つもない。		聞き手が集中して聞いていても、時々聞き取れない言葉がある。		聞き手が集中して聞いていても、不明瞭な言葉が多い。	
到達目標 B	自分の声が一番良く入る距離を把握し、発声の音圧が不自然に変化する事が無く、ノイズを立てないように最善の注意を払う事ができる。		自分の声が一番良く入る距離を把握し、ノイズを立てないように最善の注意を払う事ができる。		自分の声が一番良く入る距離を把握し、さまざまなノイズに気をつける事ができる。		さまざまなノイズに気を付ける事ができる。		ノイズに気を付ける事ができない。	
到達目標 C	マイク前が混雑した時は率先して、マイクの入る場所を提案できる。		共演者と相談しなくても、自分の入るマイクがわかり、スムーズに収録する事ができる。		共演者と相談し合えば、どのマイクに入るかがわかる。		時々どのマイクに入ったら良いかわからなくなるが、自分が演じない時は、マイクから外れる事ができる。		どのマイクに入ったら良いかわからず、自分が演じない時もマイク前にいる。	
到達目標 D	演出の指示により表現を自在に変える事ができる。		自分で考え、キャラクターを維持しながら、情景が浮かぶ表現ができる。		アドバイスをもらいながら、キャラクターを維持し、情景が浮かぶ表現ができる。		キャラクターを維持、または情景が浮かぶ表現のどちらかができない。		キャラクターを維持、または情景が浮かぶ表現のどちらもできない。	
到達目標 E	台本、キャラクター設定から役を自ら分析し、理解でき、表現に反映できる。		台本、キャラクター設定から役を自ら分析し、理解できる。		アドバイスをもらいながら、キャラクターを分析し理解できる。		キャラクターを分析できたが、自分の癖が出てしまい役から離れた演技になる。		キャラクターを分析できず、理解できない。	
【教科書】										

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アフレコⅡ			年度	2025
英語表記		Postlooping Ⅱ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	
					評価方法	自己評価
1	基本のおさらい	基本的なことができているか		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				滑舌について	言葉が均等に粒だっているか	
2	基本のおさらい	基本的なことができているか		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				発声について	充分な声が出せているか	
3	基本のおさらい	基本的なことができているか		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				役作りについて	キャラクターの表情や動きに合わせた表現ができているか	
4	基本のおさらい	基本的なことができているか		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				グループワーク	共演者との距離感・テンションを合わせる	
5	基本のおさらい	基本的なことができているか		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				グループワーク	共演者とのコミュニケーションが取れる	
6	豊かな表現力	表現力を磨く		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	距離感を自由に表現する	
7	豊かな表現力	表現力を磨く		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	相手のセリフが聞ける	
8	豊かな表現力	表現力を磨く		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	アクションに合わせた表現ができる	
9	豊かな表現力	表現力を磨く		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	表現のメリハリを考えてみる	
10	豊かな表現力	表現力を磨く		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	要求を理解し、対応できるようになる	
11	自分らしさ	自分らしい表現を考える		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	自分の声質・個性を知り、客観的に分析する	
12	自分らしさ	自分らしい表現を考える		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする	
				アフレコ実習	自分に合ったキャラクターを考えてみる	

13	自分らしさ	自分らしい表現を考える		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				アフレコ実習	役の特徴を掴み、表現する		
14	自分らしさ	自分らしい表現を考える		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				アフレコ実習	リアルな表現とは何かを考えてみる		
15	自分らしさ	自分らしい表現を考える		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				アフレコ実習	どうしたら魅力的な表現になるのかを考える		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							